

イベントちらしをチェックして、ぜひさすてな京都の体験型の環境学習プログラムへ!

さすてな京都では、「土日祝」「小学校の夏休み等の学休期」に、環境のことやSDGsについて、楽しみながら学べる「体験型の環境学習プログラム」を実施しています。

その内容は、約2か月毎に発行している「さすてな京都イベントちらし」又はさすてな京都ホームページをご確認ください。事前申込制のプログラムが多数あります。



2024年1月中旬発行
お楽しみに!

event calendar 2024年 イベントカレンダー

無料シャトルバス運行日 休館日 イベント開催日
※申込期間が終了しているイベントもございます。ご了承ください。
※イベントや工場見学などは、中止・内容変更を行う場合があります。

1月 January

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8 成人の日	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2月 February

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11 建国記念日
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29			

★他施設で出張プログラムを実施するため、さすてな京都館内での実施はありません。

3月 March

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

SNS

「さすてな京都」の情報は随時SNSで更新しています!

Twitter (現X)

Facebook

Instagram

YouTube



工場の見学について

・自由見学

個人・グループを問わず予約なしで自由に見学ができます。解説員は付きませんが、希望者には見学を補助するタブレットをお貸しします。

・定時ツアー

午前10時、午後2時から、解説員がご案内する予約不要の見学ツアーを開催します。(ただし、団体見学予約が入っている場合は催行できない場合があります。その場合は、自由見学をご利用ください。)※10名以上のグループについては、見学対応の都合上、事前予約をお願いしております。

団体予約方法

京都市内の小学校ほか、一般の団体(10名以上のグループ)に向けて、解説員がご案内するツアーを開催します。※団体見学は原則10名以上から受け付けます。9名以下のグループや個人の方は、定時ツアーや自由見学でご見学ください。

【予約方法】

1. 希望日の前日までに「さすてな京都」へ仮予約の電話(TEL:075-606-2548)
2. 申込書に必要事項を記入の上、FAXかメールでさすてな京都に送付
※申込書は「さすてな京都」のウェブサイト「工場見学予約」ページの「申込書ダウンロード」から

・開館時間:9:00~17:00

(足湯は~16:30・天候により、閉鎖する場合があります)

・休館日:水曜日(水曜日が祝日の場合は翌平日)

年末年始

・入館無料



アクセス方法はここから



シャトルバスイメージ

日曜日のみの運行です

無料シャトルバス

「さすてな京都」玄関前
↓ ↑
市バス「横大路車庫前」
↓ ↑
京阪電車「中書島駅」
↓ ↑
京エコロジーセンター/
京都市青少年科学センター
↓ ↑
地下鉄「竹田駅」東口

編集・発行

京都市南部クリーンセンター環境学習施設



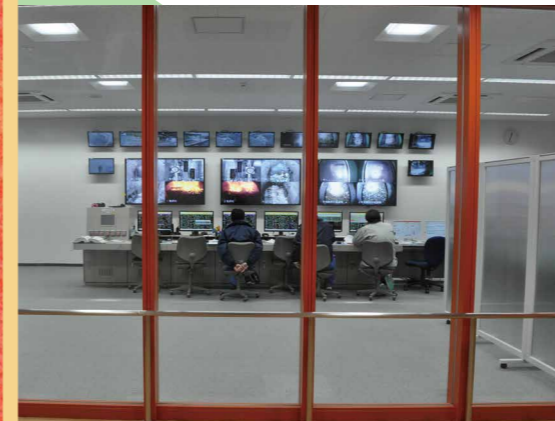
京都市伏見区横大路八反田29番地
TEL 075(606)2548 FAX 075(606)2549
info@sustaina-kyoto.jp https://sustaina-kyoto.jp
(運営受託者:京都市南部クリーンセンター環境学習施設運営グループ)

さすてな京都だより

VOL.17

発行:令和6年1月

京都市南部クリーンセンター環境学習施設「さすてな京都」広報誌



ごみ焼却施設を
詳しく見てみよう!



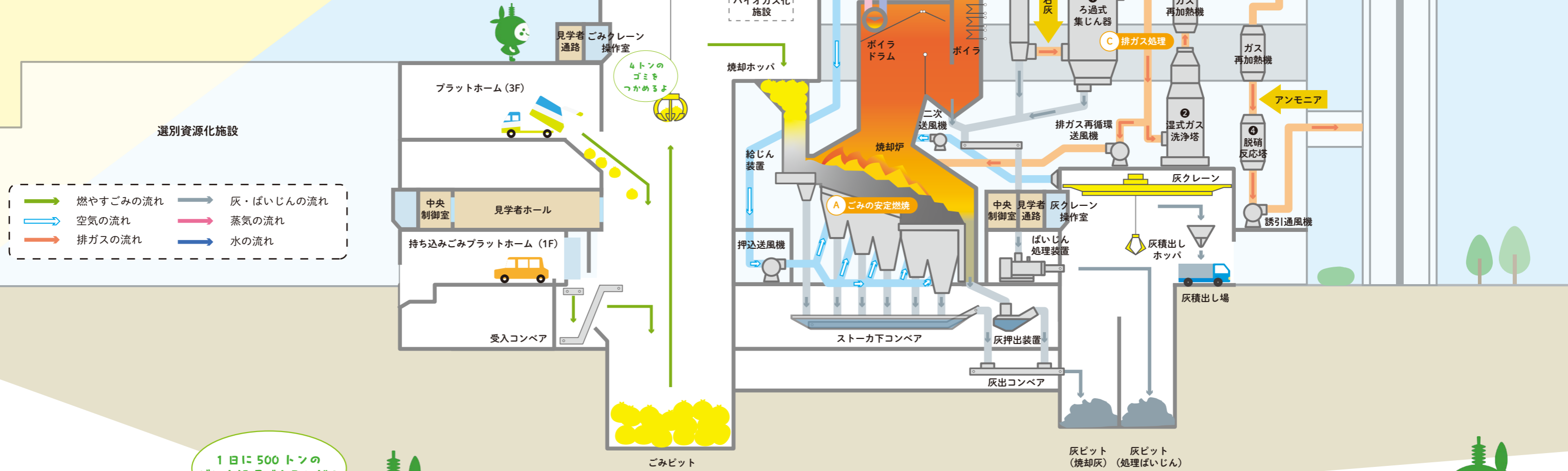
南部クリーンセンターに併設しているさすてな京都では、ごみ処理に要する大規模な施設を間近に見学することができます。今号は、ごみ焼却施設の工場内部の様子を断面図で紹介いたします!



焼却施設特集

工場を断面で見よう！

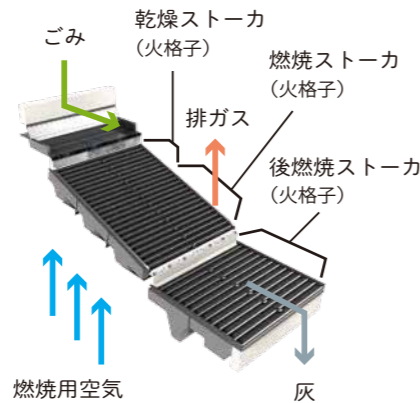
焼却施設は、ごみを燃やすことで衛生的な処理を行い、最終的に処分する焼却灰は、ごみの約1/20に減容されます。また、ごみを燃やした熱で電気を作って施設で利用し、余った電気は電力会社に売電します。



A ごみの安定燃焼

焼却炉内のごみ量の安定化とごみの燃焼に最適な量の燃焼空気量を自動制御し、ごみの安定燃焼を図っています。

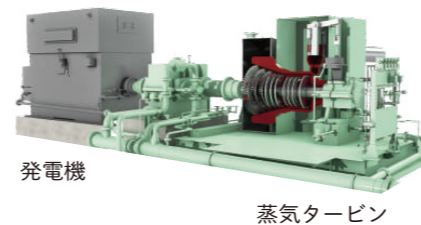
焼却炉でごみは900°C以上の高温で焼却されます。この施設には、1炉で1日に250トンのごみを処理できる焼却炉が2つあります。焼却炉の内部では、特殊な金属のブロックがおよそ800個階段状に設置されたストーカー(火格子)があり、交互に配置された可動するブロックと固定しているブロックが、効率よくごみをほぐして前に送りながら燃やしていきます。



B ごみ発電

ごみの焼却によって発生した熱から作り出した高温・高圧の蒸気を利用して発電を行います。

蒸気タービン発電機は、蒸気タービンと発電機の2つの機械が繋がっています。ボイラで発生した高温・高圧の蒸気をタービンの羽根に吹き付けて高速で回転させます。その回転エネルギーを発電機に伝え、最大14,000kWを発電することができます。この蒸気タービン発電機で発電できる年間の電力量は、一般家庭で使用する年間消費電力量のおよそ22,000世帯分に相当します。発電した電気は、バイオガス化施設で発電した電気とともに施設内の機器で使用しています。



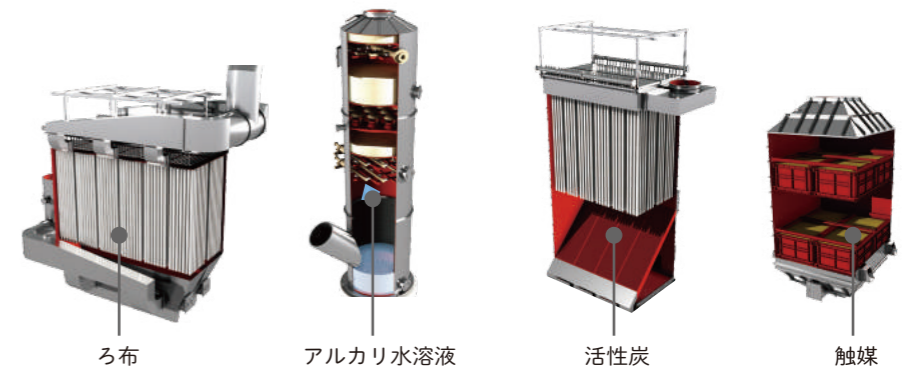
余った電気は、電力会社へ売却しているよ！



C 排ガス処理

焼却の際に発生する排ガスは、ろ過式集じん器などで有害物質を除去します。

- ①ろ過式集じん器
- ②湿式ガス洗浄塔
- ③活性炭吸着塔
- ④脱硝反応塔



きれいにしてから排出するよ！

